

【平成27年度 活動報告】

- ★4月27日 「患者の声を届ける会」へ参加。
- ★5月17日 平成27年度春季講演会アトピー性皮膚炎・ぜんそく「専門医に学ぶ—自分に合った治療法」を、総会も併設して開催。
[後援：東京都、(一社)日本アレルギー学会、(公財)日本アレルギー協会、(独)環境再生保全機構、]
・総会 平成26年度の活動実績・決算報告、27年度活動計画が承認。
第一部 講演1「アトピー性皮膚炎に関する最近の話題」
日本医科大学 皮膚科教授 佐伯 秀久先生
講演2「呼吸器疾患のトータルライフケア」
渋谷内科・呼吸器アレルギークリニック・呼吸免疫研究所 院長 土肥 眞先生
講演3「あなたに伝えたいメッセージ」ぜんそく・アトピー体験発表
第二部「講師を囲んでのQ&A」参加者からの個別質問に講師・常任顧問が回答。
- ★5月26～28日 日本アレルギー学会 第64回学術大会にて「アレルギー患者の声を届ける会」が患者ブース設置の許可を受け、「日本アレルギー友の会」も出展し啓発活動。
- ★7月11日 イオンイエローシートキャンペーン参加。
- ★7月21日 アレルギー患者の声を届ける会運営委員会へ出席。
- ★8月1日 中野サンプラザにて「患者の声協議会」世話人会・総会・勉強会に出席。
- ★8月4日 夏休み特別患者交流会(ぜんそく部門)開催
- ★8月15日 夏休み特別患者交流会(アトピー性皮膚炎部門)開催
- ★8月20日 米国製薬工業協会インフォメーションセッション 患者目線で考える「医療制度」討論に参加。
- ★9月4日 東京都庁を訪問し、認定非特定営利活動法人として認定した旨の通知を受領。
- ★9月26日 帝京大学医学部本部棟にてメディアドクターの会に出席。
- ★10月15日 サノフィ(株)社内研修のための患者インタビューを受け、患者の現状や製薬会社に期待することなど患者の視点から提言。
- ★10月28日 東京国際フォーラムにて日本製薬工業協会主催「海外患者会の活動について」講師：西村由希子氏の講演会に出席。
- ★11月8日 平成27年度秋季講演会「進化するアレルギー治療」を、フォーラムミカサ エコにて開催。
[後援：東京都・(公社)日本医師会(社)日本アレルギー学会・(財)日本アレルギー協会・(独)環境再生保全機構・(公社)日本皮膚科学会東京支部]
第一部 講演1「アトピー性皮膚炎をしっかりとケアしよう」
東京慈恵会医科大学 皮膚科准教授 朝比奈昭彦先生
講演2「ぜんそくは治る？治らない？」
独立行政法人国立国際医療研究センター 呼吸器内科診療科長 杉山 温人先生
講演3 患者の視点から「良くなるための治療プラスアルファ」
ぜんそく部門 療養相談員 坂本 直美
アトピー部門 療養相談員 丸山 恵理
第二部 「講師を囲んで Q&A」参加者からの個別質問に、講師・常任顧問が回答。
- ★11月17日 サノフィ(株)へぜんそく治療薬の治験に対して、患者の視点から提言。
- ★12月7日 (株)アクセヌへ、アトピー性皮膚炎患者の悩みや化粧品に対し提言。
- ★12月15日 平成27年度リウマチ・アレルギー相談員養成研修会東京会場で講演。
- ★12月16日 日本アレルギー学会を訪問し、患者ブース設置に関わる要望書を事務局長へ提出。
- ★1月12日 内外政策研究所を訪問し、所長と懇談。
- ★1月13日 公益財団法人医療科学研究所を訪問し、所長と懇談。
- ★1月13日 同愛記念病院を訪問し、理事長と懇談。
- ★1月15日 厚生労働省健康局がん・疾病対策課アレルギー係を訪問し課長補佐・係長と懇談。
- ★1月18日 平成27年度アレルギー相談員養成研修大阪会場にて講演。
- ★1月22日 ボードマッチング TOKYO2016 の事前オリエンテーションに参加。
- ★1月24日 エパレク(環境汚染等から呼吸器病患者を守る会)熟練患者認定式にて挨拶。

- ★2月1日 平成27年度リウマチ・アレルギー相談員養成研修会熊本会場にて講演。
- ★2月3日 厚生労働省会議室にて、第1回アレルギー疾患対策推進協議会へ出席。なお、開会に先立ち塩崎恭久厚生労働大臣よりアレルギー疾患対策推進協議会委員に任命される。
- ★2月12日 厚生労働省会議室にて第2回アレルギー疾患対策推進協議会へ出席。
- ★2月16日 平成27年度リウマチ・アレルギー相談員養成研修会仙台会場にて講演。
- ★2月18日 ボードマッチング TOKYO2016にて当会の活動内容を紹介。
- ★2月21日 環境再生保全機構・日本アレルギー協会主催の中央講演会に当会ブースを設置し広報活動。
- ★3月1日 平成27年度リウマチ・アレルギー相談員養成研修会金沢文化センターにて講演。
- ★3月2日 東京新聞より「アトピー性皮膚炎患者の就職差別について」取材を受ける。
- ★3月4日 平成27年度環境再生保全機構大気汚染連絡会に出席し意見交換。
- ★3月6日 患者の声協議会「医療基本法について」講演会に出席。

【その他通年事業】

- ★ 月刊誌「あおぞら」を毎月発行し、会員等への最新治療時の情報提供。
- ★ 電話・メール・FAX・来所等による療養相談が年間279件(うちメール相談88件)あり、相談に対し、ピアカウンセリング、患者の立場からの助言、専門医の紹介などの対応を実施。
- ★ 講演会での講演を普通会员の希望者・WEB会員に動画で配信。
- ★ 講演会や実践講座の開催を5大新聞に掲載し、一般の方々の参加を募ることにより、社会全体へ啓発。
- ★ ホームページ・Facebookの更新を随時行い、喘息やアトピー性皮膚炎に悩む多くの方に最新情報と当会活動を発信。
- ★ メールマガジンを毎月発行し、会員外の患者にも情報提供。(メールマガジン会員340名)
- ★ イオン主催の「黄色いレシートキャンペーン」の参加を継続。

【28年度事業計画】

1. 患者による療養相談
毎週火曜・土曜日に電話等による療養相談に応じ(メール相談は随時)、ピアカウンセリングや患者の立場からの助言、専門医の紹介等を行うことによりアレルギー疾患患者やその家族のサポートを行う。
2. 月刊紙「あおぞら」の発行
気管支喘息やアトピー性皮膚炎等についての正しい知識を広め、患者の方々のQOL向上に寄与することを目的として機関紙を発行する。
3. 専門医による講演会の開催
疾病についての正しい知識の普及と最新治療法の情報を提供するため、著名な専門家を講師に迎え、講師に直接質問もできるQ&Aやパネルディスカッションも併設して年2回開催する。
4. 患者交流会の開催
当会の事務所において、患者同士の情報交換や悩みを話し合う場として毎月第三土曜日に開催する。
5. アレルギー週間協賛行事の開催
アレルギー週間において、実践講座等の勉強会を開催する。
6. ホームページ・Facebookの運営
ホームページを運営し、インターネットを通じて患者に必要な正しい情報を提供する。
7. メールマガジンの発行
メールマガジンを発行し、会員外にも広く正しい情報の提供を行う。
8. 患者会として社会への情報発信
患者の立場からの意見を患者代表として学会やマスコミ等に提言を行う。
9. 他の団体との交流
他の患者会や団体および企業との交流を深め、アレルギー性疾患に関する幅広い啓発活動等を行う。
10. 創立50周年へ向けて
創立50周年記念行事へ向けて、検討会を発足し、準備を進める。